



提言書の全文は
議会HPに掲載

“つなげよう・決算”

令和2年度 予算編成に向け 議会から 町へ提言!

“全会一致の重み、どう生かされる” 提言書を前に語りあう花輪町長(左)と峯岸議長

1 企業誘致の推進

雇用の創出・拡大や
税収の増加、若者の
定着のための、さら
なる企業誘致推進。
特に寄居スマートIC
周辺の産業団地化の
早期着手。

2 教育の充実強化

全国学力水準を考慮
した学力向上対策。
教員の負担軽減と、
児童生徒と接する時
間の確保。
クラブ活動の充実、
いじめ・不登校解消
の取り組み。

3 町道127号線の整備推進

荒川南側の広域幹
線道路でありながら
整備状況が全体の
35.8%にとどまっ
ている本線について、
財源の創出・確保に
よる早期完成。

初の
提言入り

4 防災対策の強化・推進

自主防災組織の強化
及び指定避難場所
での防災訓練の実施。
避難行動要支援者名
簿の登録と支援者情
報の迅速な提供。
避難所の環境対策
(エアコン設置等)の
充実。

初の
提言入り

全会一致で4項目に

徹底
討議



合意
形成

全議員16名で協議・検討

企業誘致 ■■■■■ 教育 ■■■■■ 農業 ■■■■■
町道127号線 ■■■■■ 防災 ■■■■■ 観光 ■■■■■ 愛のりタクシー ■■■■■
ICT・AI ■■■■■ 防犯灯LED ■■■■■ 女性活躍 ■■■■■ 中小企業支援 ■■■■■ ほか

各議員からの提言候補は計52項目

※ ■は項目を挙げた
議員の数

令和2年度予算に対する提言として、各議員がそれぞれの視点で
考えた項目は、のべ52項目。これをもとに、全議員で徹底討議を重ね、
最終的に、全会一致で合意した4項目を「提言書」として町長へ提出しました。

平成30年度 特別会計・事業会計決算討論

国民健康保険

討論

保険料が高くて払えない

田母神節子議員
国民健康保険はすべての人が健康で
文化的な生活を保障するもの。国・
県からの補助金、自治体の減免制度等
誰もが払える保険料の実現を。



収支状況の健全状態を評価

大北久勝議員
県と町と共同で国保運営となった初
年度、高齢化の急速進展の中で収支
状況の黒字は当制度が安全網の役割を果
たしている。



討論

賛成

後期高齢者医療

討論

保険料は無料に!

田母神節子議員
後期高齢者医療は、年々加入者は増
加、医療費の増大に伴い保険料が上
がる仕組み。世界に例のない制度は廃止
するしかないと考える。

保険料の収納率がアップ

笠原則夫議員
保険料の収納事務が向上し、財源確
保と負担の公平性が図られた。急速
に進む高齢化に対応し、安定感がある。

討論

賛成

水道事業

討論

基本料金の見直しを

大澤 博議員
収支は黒字だが、高齢化と単身家庭
の増加により、現行の20立方メートルの
基準を10立方メートル以下へ。基準づ
りの具体的な方向性が見えない。

水道事業は町民に不可欠

権田孝史議員
水道ビジョンに基づく、安全、強靱
(きょうじん)、持続を実現するため、計
画的、効率的な事業を。さらなる努力を
願う。

討論

賛成

財政は健全、予算執行は適正である [監査委員の見解]

町の財政は、各指標に照らした結果、おおむね
良好な状況にあると判断される。今後も生産年
齢人口の減少による働き手不足、高齢者人口の
増加に伴う医療・介護需要の増大、インフラの
老朽化など、さまざまな行政分野に多額の財政
需要が見込まれる。企業誘致の推進や地域経
済の活性化による税財源の確保などあらゆる財

源の創出・拡大に取り組み、揺るぎない財政
基盤の構築に努力を。
今後も限られた行財政資源を
最大限活用し、真に町民福
祉の向上に寄与する施策
の実施に取り組まれる
よう要望する。



決算の内容は
広報より11月
号をご覧ください



佐藤監査委員(議会選出) 花輪監査委員

白熱議論を経て 平成30年度 各会計決算を認定